

川西市子ども・子育て会議 ご提案集約シート

教育・保育・地域子ども・子育て支援事業の確保方策について

項目	内容
教育・保育施設	アンケート調査により現状を把握したうえで、明峰中学校区、清和台中学校区、そして平成30年度の緑台中学校区の90人規模の保育確保案に期待している。具体的な進捗状況を提示することが、川西市の子育て支援策のアピールになるので、できる限り公開して欲しい。
地域子育て支援拠点事業について	緑台、清和台の地域子育て支援拠点の整備が急がれるのはデータを見ても明らかですが、今年、必要な地域よりも事業が集積している中央部にさらに開設されることへの疑問があります。アステは駅近くで人が集まってきますし便利なので、開設そのものはよいかと思いますが、最優先はまったく子育て支援拠点のない地域に整備するべきなのではないでしょうか。中央部は保育園数も多く、保育園での子育て支援活動も盛んに行われています。それに比べ、緑台、清和台地域は、保育園数も少ないのが実態です。小さな子どもを連れての移動は大変であり、住居の近辺でいつでも利用できる子育て支援の拠点の整備を早急にしなければいけないのではないのでしょうか。
乳児家庭全戸訪問事業について	川西市において、三歳児健診未受診者には、保健センターと主任児童委員が連携し、民生委員・児童委員の協力を得て、個別訪問を行っている。個人情報保護法との関連もあるので、この実績を活かして、同様の態勢で訪問できなかった家庭をフォローするという手段もある。会えない家庭こそ援助が必要であるので看過はできない。
子育て支援について	家庭で育つ子どもたちへの適切な遊び場の提供や、他の子どもたちとの触れ合いが子どもの育ちからみてたいへん重要であると思います。私の印象ではありますが、一時預かりで来園する子どもたちや地域支援で来園する子どもたちをみていますと、発達的に支援が必要とされる子どもが多いように感じます。また、保護者はそのような子どもの育てにくさを感じ、心的なストレスを感じ、不適切な子どもへのかかわりをしてしまう例が多いように思います。身近に子育ての相談ができるような場所や、相談者が市内に多く存在する事が求められます。

施設基準・認定基準について

項目	内容
各事業の設備及び運営に関する基準	国で示されている基準があるが、保育者や保育の質をより高めるため、また事故や事件を防ぎ、何よりも「子どもの最善の利益」を確保するために、一歩進んだ養成研修や現任者研修等を、しっかりと市独自で検討いただきたい。他市町では死亡事故などの重篤事故が起きています。川西市ではそのような事故が起きないように対策を検討いただきたいと思います。条例の中か、実施要綱の中に反映していただきたいと思います。
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準について	家庭的保育事業等の川西市の条例化に際して、小規模保育事業に関しては、子ども・子育て会議でも議論してきたように、保育の質の観点から考えた場合、B型、C型はいかがなものかと思います。保育の質の観点からみた場合、国の基準を川西市がどう捉え、市独自の基準をどのようにするのかを会議の中でお聞きしたい。